

神戸女学院大学は、キリスト教主義、国際理解の精神、リベラルアーツ教育の3つの教育の柱を掲げ、主体的に学び、高い共感力と対応力、それらを素地とした専門的能力を備え、様々な場面でリーダーシップを発揮することの出来る女性を育てることを教育の目標としています。この目標を達成するための教育の場であり続けるために、これからの5年間、以下の項目を実施致します。

- ◆ 2017年度より施行の新カリキュラムの効果の検証をし、必要に応じたリベラルアーツ教育のさらなる可視化、強化を目指した改訂を施す。
- ◆ アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーなどに記載の本学学修目標のさらなる可視化を実践し、今後の質保証・教学マネジメントの体制を整備する。
- ◆ 受験生に分かりやすい本学の情報を継続的に提供するとともに、新学習指導要領および入試改革に適切に対応した入試の体制を整備する。
- ◆ ウィズ・コロナ、アフター・コロナにおいての、学修者に寄り添った教育の体制を整備する。キャンパスと教室を活用した対面授業の充実と、時代に即した質の高いオンライン教育の両立を図り、さらにリカレント教育、教育の国際化などに対応できる体制を強化する。
- ◆ 教育研究環境及び組織の整備と質の向上、特に、教員のジェンダーバランスの適正な維持、研究者養成も含む、学修者・研究者の多様化に対応出来る体制を整備する。これに伴い、本学が求める教員像との関連を考慮し、教員構成のあり方について検討する。
- ◆ 学長を中心とした組織部署の適切性の検証をし、大学全体のガバナンスのあり方を持続的に検証する。
- ◆ 地域連携・国際連携活動を通し、SDGsに対応出来る人材を育成し、全学レベルでSDGsとの関わり方についての共通認識を醸成する。
- ◆ 2025年学院創立150周年に向け、学院とともに多様な学生の姿に対応したハードおよびソフト面の教育体制を立案し、具体化する。

-	2023年度	2024年度	2025年度
重点項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生募集・広報の強化</li> <li>2. アフターコロナをふまえた教育体制の整備</li> <li>3. 国際連携・地域連携の強化</li> <li>4. 学修成果の可視化</li> <li>5. 組織体制の強化</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生募集・広報の強化</li> <li>2. 国際連携・地域連携の強化</li> <li>3. 学修成果の可視化</li> <li>4. 学修支援の強化</li> <li>5. 組織体制の強化</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学修成果の可視化</li> <li>2. 国際連携および地域・産業界との連携強化</li> <li>3. 学習環境、学生支援の充実</li> <li>4. キャリア・サポート体制の充実</li> <li>5. 留学生受入れ体制の整備</li> </ol>
重点項目の詳細	<a href="#">こちらをクリック</a>	<a href="#">こちらをクリック</a>	<a href="#">こちらをクリック</a>
前年度の状況	<a href="#">こちらをクリック</a>	<a href="#">こちらをクリック</a>	<a href="#">こちらをクリック</a>
リンク先	2022年度事業報告書	2023年度事業報告書	2024年度事業報告書